

青少年交流事業

茨城県常陸太田市、高萩市を訪問する交流事業が7月28日から30日の2泊3日の日程で実施されました。今回は合併後初めての試みで、生保内、桧木内、角館西、角館東、中川小学校の5、6年生21名が参加し、有意義な3日間を過ごしました。その様子を紹介します。

この交流事業は仙北市と友好都市を提携している3市の子供たちがお互いに訪問しあい、交流を深めながらそれぞれの市の歴史的関係や文化などを学び、規律や礼儀などの社会性と豊かな心を育み、未永く交流の輪を広げていくことを目的としています。

常陸太田市にて(7月29日)



「交流センターふじ」での歓迎セレモニーのあと、市内の史跡巡りをしました。

*写真(上) みんなで記念撮影

(右上) 国指定文化財「佐竹寺」にて

(右下) 西山荘を散策



～そば打ち体験～

仙北市と常陸太田市の子どもたちの共同作業で、そば打ちを体験しました。



とてもこしのある、おいしいそばができました！



真剣な包丁さばきで…細～く、細～く

自分たちで作ったそばの味は格別！





高萩市にて(7月29日～30日)

安良川地区のお祭りに参加しました。
子供会が演奏するお囃子に合わせて生まれて初めて
御神輿担ぎを体験！



重い。肩が痛い。 でも楽しかった！！



一生懸命練習した「流し踊り」では、子供会奨励賞を受賞しました。

「高萩市アドベンチャートラベル888」交流事業

★高萩市から盛岡を経由して仙北市角館町まで往復888キロメートルにちなんで名付けられた交流事業です。



イタヤ細工の体験



樺細工職人の技を見学



8月19日、高萩市からやってきた92人の小学生と、仙北市の小学生14人が武家屋敷を散策したり、イタヤ細工を体験したりして交流しました。

この夏、二つの交流事業を通して、子どもたちは大きく成長しました。みんなで協力し合いひとつのことを成し遂げることのすばらしさと喜びを実感し、多くの人と知り合い交流することによって視野が広がり、故郷のすばらしさを再確認しました。この夏の体験は参加者一人ひとりの心の中で忘れることのできない大切な思い出になることでしょう。